



新座中だより

〒352-0011 埼玉県新座市野火止2-4-1

TEL 048-478-3668

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/j-niiza/>

新座市立新座中学校

学校教育目標

強く 明るく 考える

「5月号」

令和6年5月1日発行

何気ない挨拶ですが、毎日生徒から力を与えられます

校長 金子 文春

新年度が始まって一か月。新座中学校で毎日気持ち良くお仕事をさせていただいています。私がそう感じる最大の理由が「挨拶」です。3年生はドアの開いた校長室の中の私に向かって声を掛けてくれます。2年生は部活動でその時行っている活動を止めて、1年生は「〇〇先生、こんにちは」と名前をつけて、挨拶をしてくれます。日常生活で何気なく自然に交わされる「挨拶」ですが、新座中生から送られるそれが、元気や笑顔、活力を私に与えてくれるのです。

先月読んだ書物の中で最も印象に残った、「中畑 清さん ※元プロ野球選手・監督 の二言（にげん）挨拶」について紹介します。「絶好調男」の愛称で人気者になった中畑さんは、学生時代から声だけは人一倍大きく、何よりも人懐っこい性格でした。見知らぬ人と会っても平気で話をするし、お年寄りにも自然に声をかけます。「言葉というものには、これくらい心が表れていなければダメだ」と、大学時代の監督は選手である中畑さんから教えられたと言います。

中畑さんの挨拶とは次のようなものです。例えば誰かに「こんにちは」と声を掛けます。普通ならこれでおしまいですが、中畑さんは必ずその後「今日はいい天気ですね」とか「おばあちゃん、いつも元気ですね」といった“もう一言”の挨拶が付け加わります。これを「二言挨拶」と名付け、普段の挨拶をただの挨拶に終わらせないようチームで心掛けてきたそうです。この「二言」は、必ずしも言葉である必要はありません。すれ違った相手のために立ち止まっても二言。手振りやほほえみであっても二言。上級生の方から「おはよう、今日も元気にいこうぜ」なんて声を掛ければ、なおのことよい。そこに人間同士の心と心の通い合いが生まれてくるのです。



学校教育目標「考える」のコンセプトは「何のため？」の問いを自分にもつことです。「挨拶」はなぜ必要なのでしょう？その意味を考え、自分の中にしっかりと持ち、今日から始まる5月の生活にいかしてほしいと思います。「挨拶」「愛のある言葉」が今月も咲き誇りますように…。